

芸術文化選奨

受賞年度：平成28年度
 受賞区分：文化賞（個人）

氏名又は団体名	しばた まりこ 柴田 眞理子		
代表者(団体のみ)		設立年(団体のみ)	
住所	瀬戸市	会員数(団体のみ)	
ホームページ			

受賞時の業績概要
<p>分野： 現代陶芸</p> <p>県立瀬戸窯業高校専攻科在学中から、土・陶を素材としての新しい表現の可能性に興味を持ち、当時瀬戸市で制作していた作家のアルバイトをしながら、その制作の姿勢を学ぶ。独立後の平成7年に第4回国際陶磁器展美濃・審査員特別賞を受賞。器の形状でありながら側面には透き間が開いているオブジェとして存在感の強いやきものを制作し、異彩を放っている。長年取り組んで来た「静物」シリーズは、「あいちトリエンナーレ2016」において、「現代美術」として取り上げられ、作品を鑑賞者が手に持ち移動させるという大胆かつ斬新な展示方法を行うなど、本県芸術文化の振興と向上に大きく貢献している。</p>



「ライトボックスの中の静物『ホモ・ファーベルの断片』展のため」
 (令和4年)
 「不在のダイアログ見えないものに眼を注ぐ」 (令和4年)

経歴・業績・近年の活動内容
<p>【略歴】 平成2年 愛知県立瀬戸窯業高等学校専攻科陶芸専攻修了 平成7年 第4回国際陶磁器展美濃 審査委員特別賞 平成29年3月 平成28年度 愛知県芸術文化選奨 文化賞</p> <p>【近年の活動内容】 平成8年 現代陶芸の若き旗手たち(愛知県陶磁美術館/愛知)、磁器の表現-1990年代の展開(東京国立近代美術館工芸館/東京) 平成11年 やきものの20世紀(滋賀県立陶芸の森/滋賀) 平成14年 現代陶芸の100年(岐阜県現代陶芸美術館/岐阜) 平成15年 アンソンマチュム陶芸フェスティバル国際招待作家展 (ANSEONG MACHUM 博物館/韓国) 平成16年 カタチを切る—日本の現代陶芸(岐阜県現代陶芸美術館/岐阜) 平成17年 瀬戸現代陶芸展(瀬戸市美術館/愛知) 平成18-20年 Asian Ceramic Delta : Korea, Taipei and Japan (Icheon World Ceramic Center /韓国) 他台湾、日本巡回 平成19-24年 魅せられる…今、注目される日本の陶芸展(滋賀県陶芸の森/滋賀)他フランス、アメリカ巡回 平成20年 世界の現代陶芸(愛知県陶磁美術館/愛知) 平成22年 小さなオブジェ(岐阜県現代陶芸美術館/岐阜) 平成23年 やきものを楽しむ—愛知県陶磁美術館コレクション(碧南市藤井達吉現代美術館/愛知) 平成27年 リトルガーデン(岐阜県現代陶芸美術館/岐阜) 平成28年 あいちトリエンナーレ(岡崎市六供会場/愛知)、あいちトリエンナーレ・モバイルトリエンナーレ(一宮市・設楽町・大府市・安城市/愛知) 令和4年 ホモ・ファーベルの断片—一人とものづくりの未来—(愛知県陶磁美術館/愛知)</p>